

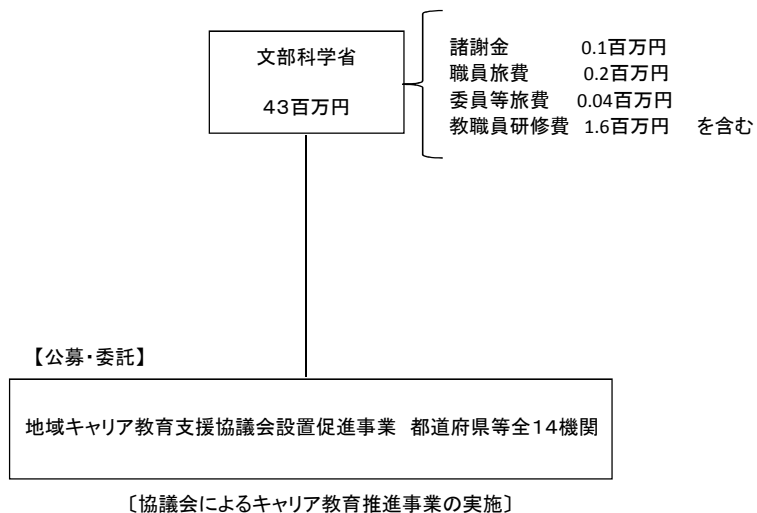
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	地域キャリア教育支援協議会設置促進事業		担当部局	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・事業終了年度未定		担当課室	児童生徒課		児童生徒課長 白間 竜一郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-2 豊かな心の育成				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」平成23年1月				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	キャリア教育の推進にあたって不可欠な、地域・社会、産業界等との連携を推進するため、各地域における「地域キャリア教育支援協議会」設置の取組を支援することにより、キャリア教育の更なる推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各都道府県等の地域毎に、「地域キャリア教育支援協議会」の設置及び運用を委託する。委託を受けた地域においては、地方自治体や地域の経済団体等が核となり、学校等の教育機関・産業界・NPO・地方自治体等が参画する「地域キャリア教育支援協議会」を設置し、例えば、企業等による出前授業等の教育活動支援の促進や、職場体験・インターンシップ受け入れ先の開拓・マッチング等の支援を行うことにより、キャリア教育の推進に取り組む。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				43	-	
		繰越し等						
		計	0	0	0	43	-	
	執行額							
	執行率(%)		-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	高等学校(全日制・普通科)における生徒のインターンシップ参加率			成果実績	%		17.7%	対前年増
				達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域キャリア教育支援協議会設置地域数			活動実績 (当初見込み)	地域		0	-
単位当たりコスト	地域キャリア教育支援協議会1か所当たりのコスト (3,000千円/協議会)			算出根拠	a. 運営費(講師謝金、旅費、消耗品、印刷製本費、会場費等) 1,200千円 b. 活動費(コーディネーター報酬、Web掲載費等) 1,800千円 合計 3,000千円			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.08百万円	-					
	職員旅費	0.2百万円	-					
	委員等旅費	0.04百万円	-					
	教職員研修費	1.6百万円	-					
	初等中等教育等振興事業委託費	41百万円	-					
	計	43百万円	-					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	地域キャリア教育支援協議会は、中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)平成23年1月」や「商工会議所キャリア教育活動白書」が示す民間からの支援が活発化している状況で、設置について記述されているなど、学校内外から、設置に向けた期待が高まっている優先度の高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募を行い、事業審査委員会において、事業経費の費目・用途を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行ったところである。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	キャリア教育の推進のため地域において教育機関・経済団体等が参画する協議会を設置する事業はほかに類似する事業がなく、また、地域ごとに取組の核となる教育委員会等に国から委託する手法は最も適した実効性の高い手法である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成23年1月には中央教育審議会において「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」が取りまとめられ、発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を実現していくための方策が示された。この中で、キャリア教育の推進に当たって不可欠な、地域・社会、産業界等との連携の在り方についても述べられており、学校外部の人材の活用を促進するための体制整備の必要性等についても指摘されている。キャリア教育の推進に当たっては、学校と地域・社会や産業界等との連携が不可欠であり、本事業により各地域における取組の支援を推進していくことが必要である。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
平成26年度概算要求においては、各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育の実践を実現するため、「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」を含め、関連事業をパッケージ化し、「将来の在り方・生き方を主体的に考えられる若者を育むキャリア教育推進事業」(概算要求額: 264百万円)を創設し、新規事業として要求。						
備考						
○中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」平成23年1月 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25-0013

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
初等中等教育 等振興事業委	2地域 × 7ブロック × 2,953千円	41			
計		41	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0